

FIRE REPORT 2019



文化財防火デーに伴う火災防ぎょ訓練
於 宗像大社

福岡県
宗像地区消防本部

Firereport2019 は、宗像地区消防本部の消防現勢及び平成30年中の消防統計などを、広く紹介するために収録したものです。

なお、このFirereport2019 の統計資料は原則として暦年をもって表していますが、予算その他との関係から会計年度で収録したものもあります。

令和元年8月

【表紙】

文化財防火デーの制定は、昭和24年1月26日に、現存する世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂が炎上し、壁画が焼損したことに基づいています。当本部では、毎年文化財防火デーにあわせて、平成29年7月に世界遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の一部である「宗像大社辺津宮」において訓練を実施しています。

一目でわかる宗像消防

人 口	面 積	世 帯 数
161,918人	172.7km ²	70,007世帯
署 所	消防職員	平均年齢(消防職員)
2署2出張所 1分遣所	148人 (うち再任用短期職員9人)	38.1歳
防火対象物	危険物施設	消 防 水 利
3,900棟	173施設	消火栓 1,706基 防火水槽 715基
出火件数	救急出動件数	消 防 団 員
36件	6,660件	928人